

8 【分析6】 学力向上総合対策事業研究指定校の状況

学力向上総合対策事業は、小学校と中学校又は中学校同士が連携し、教科指導と生徒指導の一体的な対策を行うことにより、児童生徒の学力の向上を図ることを目的として、平成24年度から実施しており、指定地域には小中連携地域（3年間指定）と中中連携地域（1年間指定）がある。

ここでは、本事業の取組の成果を検証・普及するため、研究指定校の状況を掲載する。

なお、中中連携地域については、1年間の指定であり、「基礎・基本」定着状況調査の実施が6月であることから、平成26年度の指定校の結果では検証が難しいため、平成25年度の指定地域の状況を掲載している。

*小中連携地域の小学校指定校数は、一部の学校で統廃合等があり、平成24年度は61校、平成25年度は59校である。

(1) 指定校数

タイプ別	校種	指定校数
小中連携地域（25地域）	小学校	61校
	中学校	25校
中中連携地域（9地域）	平成25年度指定中学校	22校
合計		108校

(2) 「基礎・基本」定着状況調査の教科に関する調査結果

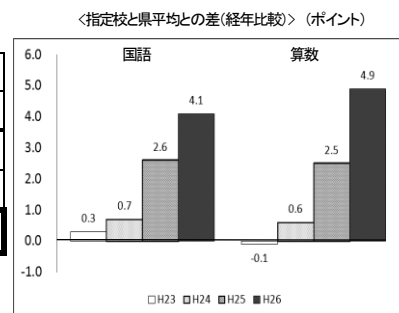
小中連携地域は、「基礎・基本」定着状況調査における教科に関する調査（タイプⅠ）の結果を平成23年度（事業開始前年度）と平成26年度と比較し、中中連携地域は、1年間の指定のため、「基礎・基本」定着状況調査における教科に関する調査（タイプⅠ）の結果を平成24年度（事業開始前年度）と平成26年度と比較している。

- 指定校平均通過率は、平成23年度では小中連携地域（小学校）の国語が平均通過率を上回っていたが、平成26年度ではすべての教科で県平均通過率を上回っている。・・・①
- 県平均通過率を上回った指定校の割合は、小中連携地域（小学校・中学校）、中中連携地域のすべての教科で増加している。・・・②
- 通過率60%以上の児童生徒の割合は、小中連携地域（小学校・中学校）のすべての教科と中中連携地域の数学で増加しているが、中中連携地域の国語と英語で減少している。・・・③
- 通過率30%未満の児童生徒の割合は、小中連携地域（小学校・中学校）のすべての教科と中中連携地域の数学・英語で減少しているが、中中連携地域の国語で増加している。・・・④

① 指定校平均通過率

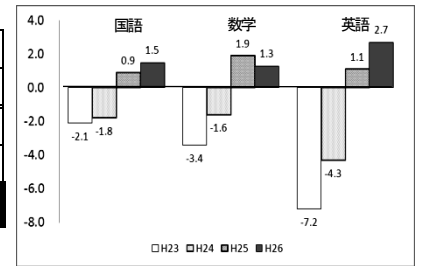
ア 小中連携地域指定校（小学校）

教科	国語		算数		
	調査年度	H23	H26	H23	H26
指定校平均通過率 (%)		78.8	78.0	77.7	84.6
県平均通過率 (%)		78.5	73.9	77.8	79.7
差 (ポイント)		0.3	→ 4.1	-0.1	→ 4.9



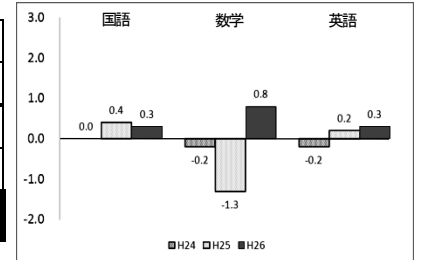
イ 小中連携地域指定校（中学校）

教科	国語		数学		英語	
	H23	H26	H23	H26	H23	H26
調査年度	H23	H26	H23	H26	H23	H26
指定校平均通過率 (%)	71.1	75.3	71.3	75.2	64.7	75.2
県平均通過率 (%)	73.2	73.8	74.7	73.9	71.9	72.5
差 (ポイント)	-2.1	→ 1.5	-3.4	→ 1.3	-7.2	→ 2.7

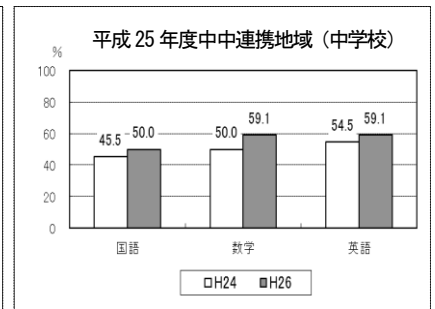
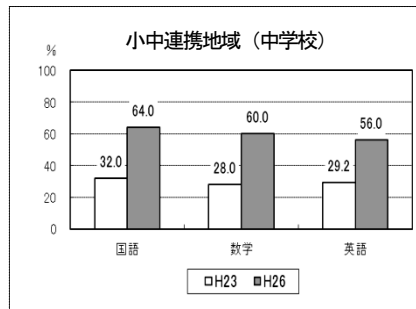
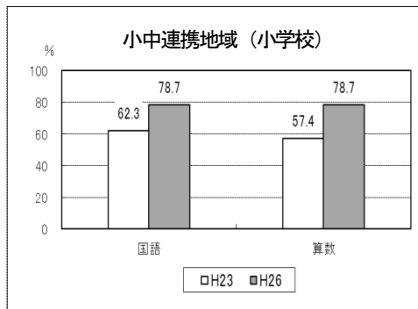


ウ 平成 25 年度中中連携地域指定校（中学校）

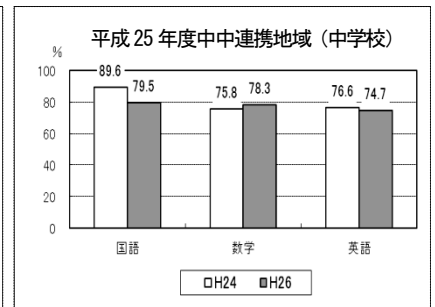
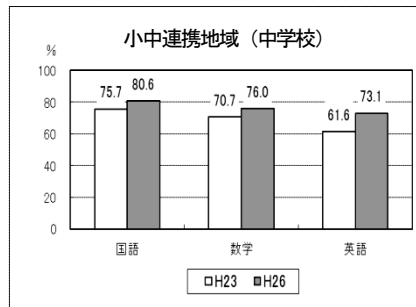
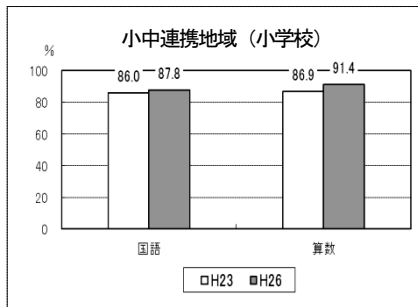
教科	国語		数学		英語	
	H24	H26	H24	H26	H24	H26
調査年度	H24	H26	H24	H26	H24	H26
指定校平均通過率 (%)	81.0	74.1	73.9	74.7	74.0	72.8
県平均通過率 (%)	81.0	73.8	74.1	73.9	74.2	72.5
差 (ポイント)	0	→ 0.3	-0.2	→ 0.8	-0.2	→ 0.3



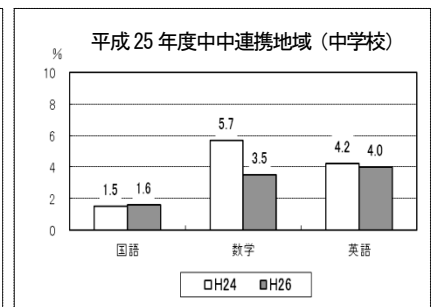
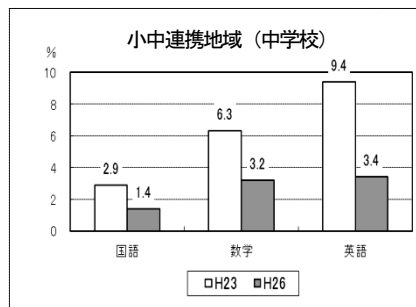
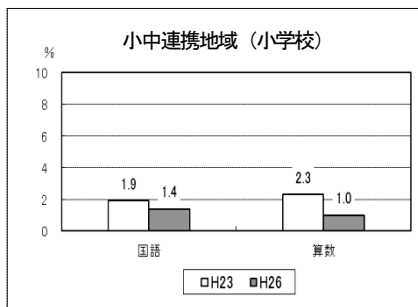
② 県平均通過率を上回った指定校の割合



③ 通過率 60%以上の児童生徒の割合



④ 通過率 30%未満の児童生徒の割合



⑤ 指定校と指定校以外の学校質問紙調査の比較

学校質問紙の設問※に「よくあてはまる（よく行った、よくしている）」と回答をした、小中連携地域の指定校と指定校以外の学校の割合を比較した。指定校が10ポイント以上、上回った設問のうち、小・中学校に共通している設問を示す。

※学校の指導方法等に関する設問のうち、3段階及び4段階尺度法による設問のみを対象としている。

- 「基礎・基本」定着状況調査の学校質問紙において、指定校が10ポイント以上、上回った設問のうち、小・中学校に共通している設問は10問である。
- 全国学力・学習状況調査の学校質問紙において、指定校が10ポイント以上、上回った設問のうち、小・中学校に共通している設問は9問である。

ア 「基礎・基本」定着状況調査 学校質問紙

(ポイント)

設問	差 (指定校－指定校以外)	
	小学校	中学校
「基礎・基本」定着状況調査報告書の指導改善事例を活用した授業研究を行った。	31.6	17.7
外国語活動（外国語（英語））の指導について、中（小）学校（中学部（小学部））と連携した。	16.1	19.7
学習規律（聞く姿勢、発表の仕方、ノートを取り方など）の指導について、計画的、継続的に小学校（小学部）、中学校（中学部）と連携した。	41.5	41.6
国語の授業において、児童生徒にめあてと対応したまとめや振り返りをさせた。	12.9	12.6
全国学力・学習状況調査の「国語A」「国語B」の問題やその結果を分析して、授業改善を行った。	19.3	16.5
算数・数学の授業において、児童生徒にめあてと対応したまとめや振り返りをさせた。	20.6	15.7
全国学力・学習状況調査の「算数A」「算数B」、「数学A」「数学B」の問題やその結果を分析して、授業改善を行った。	24.9	21.2
解き方や考え方を絵や図に表したりまとめたりさせるために、考え方やまとめ方の手がかりになるものを掲示したり、ノートの書き方の例を示したりするなどの指導の工夫を行った。（算数・数学）	18.2	14.8
全国学力・学習状況調査の「理科」の問題等やその結果を分析して、授業改善を行った。	17.1	24.3
自分の考えをまわりの人に説明させたり発表させたりする場面を意図的、計画的に設定したり、既習事項や体験を根拠に自分の考えを述べさせたりするなどの指導の工夫を行った。（理科）	13.4	17.3

イ 全国学力・学習状況調査 学校質問紙

(ポイント)

設問	差 (指定校－指定校以外)	
	小学校	中学校
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	26.8	17.5
平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	15.1	17.9
全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	15.1	32.5
調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	11.1	21.9
教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校、中学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	57.2	45.8
模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	13.3	16.6
教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	12.6	18.6
教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	17.2	12.4
学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	15.8	20.9